

1 単元名 病気の予防 「薬物乱用の害」

2 単元の目標

- ・病気の起こり方と予防の方法について関心を持ち、進んで課題を見つけたり、主体的に自分の生活を改善したりしようとする。（健康・安全への関心・意欲・態度）
- ・喫煙や飲酒、薬物乱用のきっかけについて知り、それらへの効果的な対処法を考えることができる。（健康・安全への思考・判断）
- ・たばこや酒、薬物が身体に及ぼす影響について知り、喫煙、飲酒、薬物乱用によって健康を大きく損なうことがわかる。（健康・安全への知識・理解）

3 単元について

どんな病気にも、その病気を起こす原因がある。どうしたらその病気を防ぐことができるかは病気にかかった原因を調べるとその方法が見えてくる。そこで、本単元は、まず、病気の一般的な起こり方について学習し、その上でいくつかの代表的な病気とその起こり方について詳しく知り、それぞれの予防のしかたを考えることができるように構成されている。加えて、たばこ・酒・薬物は利用を誤ると病気のもととなるため、その防止についても学習できるように位置づけられている。特に近年、小学校にも取り入れられている薬物乱用防止教育に関する内容については、児童にとって今は身近なものではないかもしれない。しかし、小学校の段階で薬物に関する正しい知識やその恐ろしさを学ぶことが、今後、中学校や高等学校等で学ぶ際の土台となり、これからの人生において重要な単元であろう。

4 児童について

男子15名、女子14名、計29名の学級である。非常に明るく元気な児童が多く、体育で体を動かすことはもちろん好きだが、教室や保健室で行われる保健の授業でも非常に意欲的に取り組む様子が見られる。

本時で学習する薬物乱用については、今の児童にとっては当然、接点がなく身近なものではないためイメージしにくいものかもしれない。しかし、薬物乱用の低年齢化などの問題からも、小学6年という今の時期から薬物についてしっかり学習しておく必要がある。また、ロールプレイは本単元での実施が初めてで、喫煙、飲酒で経験し、薬物乱用を断る今回のロールプレイが3度目となる。

5 指導について

病気を予防するためには、まずその病気の起こり方や予防の方法などをよく知ることが重要である。そして、児童自らがその病気に関心を持ち、主体的に健康な自分の生活を維持する、または改善していく必要がある。児童にそのような態度を育てていくため、また、本校の研究主題「思いをふくらませ、学び合い高め合う子どもの育成～連続的な学びの中で～」に迫っていくために次の2点に力を入れ、指導していく。

(1) ロールプレイを活用した授業展開

たばこ・酒・薬物を勧められた時に、効果的な断り方ができるように教師とロールプレイを行う。単に断り方を考えて終わるのではなく、実際に勧められるという体験をすることで、たばこ・酒・薬物に対して「自分は吸わない、飲まない、やらない」という強い気持ちを持たせたい。また、仲間の断り方を聞き、自分の考えと比較することで、より良い断り方を考えさせていきたい。

(2) 養護教諭とのTTでの指導体制

教科書やビデオからわかる内容を担当が、命や健康に関わる専門的内容を養護教諭が指導していく。専門的内容を養護教諭から聞くことで病気の予防に関する関心を高め、より真剣に病気と向き合うことを期待したい。また、単に薬物の恐ろしさを植えつけるのではなく、必要な情報をしっかり提示したうえで、児童が選択行動をとれるようにしたい。そのためにロールプレイも2人態勢で行い、全員に体験させることで、その効果を高めたい。

6 指導計画（8時間配当 本時3／8）

時	学習内容	ねらい	関	思	知	評価規準
1	喫煙の害	喫煙が心身の健康にどのような影響を及ぼすのかがわかる。 喫煙を勧められた場合の効果的な断り方を考える。		◎	○	喫煙を勧められた場合の効果的な断り方を、喫煙が心身に及ぼす悪影響をもとに考えている。 (思考・判断)
2	飲酒の害	飲酒が心身の健康にどのように影響を及ぼすのかがわかる。 飲酒を勧められた場合の効果的な断り方を考える。		◎	○	飲酒を勧められた場合の効果的な断り方を、飲酒が心身に及ぼす悪影響をもとに考えている。 (思考・判断)
3 八 本 時 ▽	薬物乱用の害	薬物が心身に及ぼす影響や社会に与える悪影響についてわかる。 薬物を勧められた場合の効果的な断り方を考える。		◎	○	薬物を勧められた場合の効果的な断り方を、薬物が心身に及ぼす悪影響をもとに考えている。 (思考・判断)
4	病気とその起こりかた	病気は、病原体、環境、生活のしかた、体の抵抗力などが関わり合って起こることがわかる。 わたしたちの体には、病原体などから体を守り、病気を防いだり、治したりする力があることを知る。			◎	病気が、様々な要因によって起こるということがわかる。 (知識・理解) 自分の体には、病原体などから体を守ったり、病気を防いだり、治したりする力があることがわかる。 (知識・理解)
5	病原体と病気 (1)	インフルエンザや食中毒の起こり方がわかる。 インフルエンザや食中毒を予防するためにはどうすればよいかを考える。		◎	○	インフルエンザや食中毒の起こり方をもとにインフルエンザや食中毒の予防法を考えている。 (思考・判断)
6	病原体と病気 (2)	エイズがどのような病気であるか、どのようにして起こるのかがわかる。 病原体がもとになって起こる病気が、病原体をなくしたり、抵抗力を高めることなどで予防できることがわかる。			◎	エイズがどのような病気で、どのようにして起こるのかがわかる。 (知識・理解) 病原体がもとになって起こる病気が様々な方法で予防できることがわかる。 (知識・理解)
7	生活のしかたと病気(1)	生活習慣病について知り、生活習慣病の予防には、望ましい生活習慣が必要であることがわかる。 自分の生活を振り返り、主体的に生活習慣の改善に取り組む。	◎		○	自分の生活を振り返り、生活習慣病について学習したことを生かして、主体的に生活習慣の改善に取り組もうとする。 (関心・意欲・態度)
8	生活のしかたと病気(2)	むし歯や歯周病の起こり方がわかる。 むし歯や歯周病を防ぐにはどうすればよいかを考え、主体的に自分の生活を改善しようとする。	◎		○	むし歯や歯周病の起こり方をもとに、むし歯や歯周病を防ぐにはどうすればよいかを考え、主体的に自分の生活を改善しようとする。 (関心・意欲・態度)

7 本時の目標

薬物乱用が身体に及ぼす悪影響をもとに、薬物を勧められた場合の効果的な断り方を考えることができる。

8 準備物

ビデオデッキ, ビデオテープ, ワークシート, 提示用パネル, ビニール袋

9 本時の学習過程

学 習 活 動	T 1 支援 (・) と評価 (☆)	T 2 支援 (・) と評価 (☆)
<p>○薬物についてどんなことを知っているか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シンナー, 大麻, 覚せい剤 ●やめられなくなる ●頭がおかしくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことでも, 知っていることを積極的に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にわかりやすいように発言を黒板に書く。
<p>薬物が心や体に与える影響について考えよう。</p>		
<p>○薬物乱用に関するビデオを視聴する。</p> <p>○薬物が心や体に与える影響, 薬物を使うきっかけについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体も心もボロボロにする ●依存性 ●きっかけ <p>○薬物を勧められたときに断る方法を考え, ワークシートに書き込む。</p> <p>○ロールプレイを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンナーがあるんだけど, 一緒に吸ってみない? ・少しくらい平気だよ。 ・これを吸うとやせられるんだよ。 ・気分がすっとするよ。 ・勉強がはかどるよ。 <p>○感想を発表する。</p> <p>○次時予告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物が心や体に与える影響について確認する。 ・児童が理解しやすいように重要な言葉を板書していく。 ・児童がイメージしやすいように, T 2 と模範を見せる。 ・机間巡視をし, 必要に応じて適宜, 助言する。 ・教室左半分の児童とロールプレイを行う。 ・模範となるような断り方ができた児童を指名し, 代表でロールプレイをさせる。 ☆ロールプレイを体験し, 薬物を勧められた場合の断り方を考えることができたか。(発表, ワークシート) ・積極的に発表させる。 ・次時内容を伝え, 意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用で失うもの(健康, 成長, 自由, 未来)について説明し, なぜ薬物がいけないのか実感できるようにする。 ・児童がイメージしやすいように, T 1 と模範を見せる。 ・机間巡視をし, 必要に応じて適宜, 助言する。 ・教室右半分の児童とロールプレイを行う。 ☆ロールプレイを体験し, 薬物を勧められた場合の断り方を考えることができたか。(発表, ワークシート)

10 授業の観点

薬物を勧められた場合の効果的な断り方を考えるために, ロールプレイを行うことは有効であったか。